

長寿をお祝い!



宜野湾市では今年、27人(男性4人、女性23人)がめでたく百歳を迎え、44人(男性13人、女性31人)がカジマヤ一、238人(男性72人、女性166人)がトーカチのお祝いを迎えました。(写真:トーカチを迎えられた當山誠篤さんを佐喜眞市長が訪問)

老人福祉センター、活動の成果を発表



8月21日(木)・22日(金)、老人福祉センターの教養講座の受講生とサークルの皆さんによる発表会が開催されました。日頃の活動成果を披露することにより、お互いの交流を広めました。展示部門および舞台部門による発表があり、会場は大いに賑わいました。

区民がつくる、野嵩マールアシビ



9月14日(日)、野嵩一区自治会(新城嘉隆会長)で十五夜マールアシビが開かれました。五穀豊穡と無病息災を祈願する行事で、子年と午年の7年ごとに行われることから7年周期村芝居(マールアシビ)と称されています。区民の皆さんの熱演に、訪れた多くの観客から大きな拍手が送られました。

こみゆにてい

地域のいろいろな話題を紹介します。

字宜野湾の年中祭祀を文化財に登録



9月3日(水)、字宜野湾の年中祭祀(土帝君の例祭・カーサレー拝み・シマクサラシ)の無形民俗文化財登録書の交付式が行われました。字宜野湾の年中祭祀は、戦前来、字宜野湾が行っていた祭祀の一部で、集落が普天間飛行場に接收されたのちも、現在住んでいる地で行っている祭祀です。

字宜野湾郷友会の宮城政一会長は「私たちのアイデンティティ、ルーツを守るために祭祀行事を続けていきたい」と感想を述べました。交付式のあと、シマクサラシを同区周辺で行いました。



十五夜、大謝名の獅子舞!



9月8日(月)、大謝名区公民館にて「豊年祭-獅子舞」が開催されました。伝統芸能を大切に、地域の厄払いと健康祈願として開催されています。

大謝名獅子舞保存会による獅子舞い演舞のほか、古典演奏、子ども会エイサーなど多彩な演目が披露され、会場に訪れた区民は大いに盛り上がりしました。

見聞録

夏休み企画!ランプシェード作り体験イベント



8月22日(金)・23日(土)、サンフティーマにて(株)ティ・エム・オ普天間主催による「夏休み企画!ランプシェード作り体験イベント」が開催されました。子どもたちは、貝殻を組み合わせて、世界に一つだけのランプシェードを作りました。宮城希空さん(普天間小2年)は「難しかったけど上手にできた。楽しかった」と感想を話しました。

ありがとう上大謝名公民館



8月31日(日)、上大謝名公民館で、地域の子どもたちによるらくがき会が行われました。これは、建て替えに伴い取り壊される公民館との

お別れイベントとして企画されました。普段はできない壁や床へのらくがきということもあり、子どもたちの笑い声が終始絶えませんでした。

らくがき会に参加した當真心暉くん(大謝名小3年)は、「いっぱい絵を描けて楽しかった」と語りました。

救急消防フェア開催



9月7日(日)、市消防本部は宜野湾ファーマーズマーケットはごろも市場において「救急消防フェア」を開催しました。

AEDを用いた心肺蘇生法の実技体験のほか、高規格救急車の展示、はしご車体験搭乗などが行われ、応急手当の普及啓発と救急業務・消防行政に対する広報活動が行われました。

九州吹奏楽コンクールへ!



8月15日(金)、第59回九州吹奏楽コンクールに県代表として派遣される宜野湾小学校吹奏楽部の皆さんが市役所を訪問。佐喜眞市長を訪れた児童の皆さん「九州大会では緊張せずに演奏したい」「日頃の練習の成果を発揮したい」と一人ひとりが抱負を語りました。

卓球の県代表として九州へ!



8月14日(木)、第19回全九州卓球選手権大会に出場する田畑明希さん(宜野湾小4年)が市役所を訪れました。田畑さんは「九州大会では、まず一つ勝てるようにがんばりたい。そして二つ三つと勝っていきたい」と意欲を語りました。

日向市の中学生、平和について学ぶ



8月18日(月)、宮崎県日向市の中学生7人が平和交流団として市役所を訪れました。日向市は、太平洋戦争末期に宜野湾市国民学校の学童が疎開した事が縁で姉妹都市締結していた東郷町と合併した市です。生徒たちは、普天間基地について学習会および佐喜眞美術館の見学を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さ、市が抱えている基地問題について学習しました。